



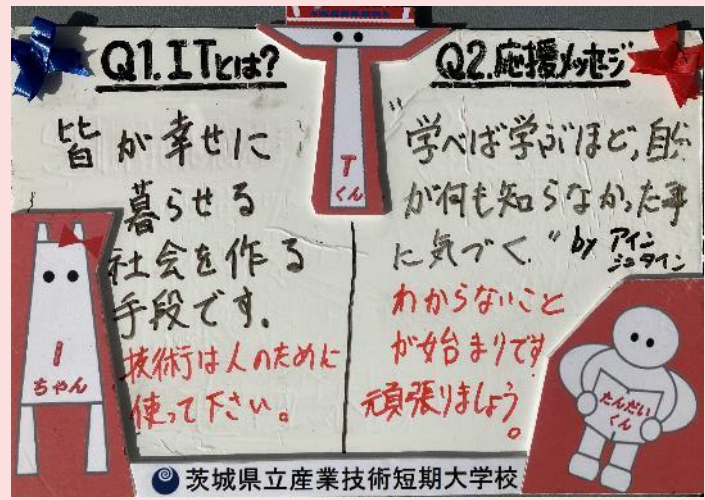
1 目や耳で実感する学習

情報システム



10月からスタートした情報システム担当の佐藤秀昭先生から ①コースの特色や魅力 ②学生への期待 ③先生の好きな言葉 をお聞きしました。

- ① コンピュータと現実世界をつなぐ手段を学びます。センサの出力等を通して、IoTやAI技術を、目や耳で実感しながら学ぶことが魅力です。
- ② 軽いフットワークで、物事に挑戦して欲しいです。プログラムは試すことで理解が深まることがあります。若い時は進んで苦労して下さい。
- ③ 「学べば学ぶほど、自分が何も知らなかった事に気づく、気付けば気付くほどまた学びたくなる」アインシュタイン
The more I learn, the more I realize I don't know.
The more I realize I don't know, the more I want to learn.



朝礼の風景

2 文化で楽しく国際交流 ①



発言する紺野圭汰さん(中央)



交流風景



参加した学生

11月4日(金)、「シンガポールとの※1グローバルプログラム」が開催され、本校を含めた国内6校の学生35名と、シンガポールの学生60人がオンラインで交流を深めました。この事業は※2『いばらき P-TECH』によるもので、次代を担うIT技術者を育成することを目的としています。プログラムでは、オープニングとシンガポール、日本の紹介に続いて、学生の交流タイムが実施されました。本校の紺野圭汰さん(水戸工高卒)は「シンガポールの人も日本のゲームを知っていて嬉しかった。国が違って文化で通じた感じです。素晴らしい体験でした」と話していました。途中、交流を深めるクイズも出題されました。

※1グローバルプログラム
＜国内：参加校＞
茨城県立産業技術短期大学校
神奈川県立産業技術短期大学校
日本工学院八王子専門学校
茨城県立水戸工業高等学校
神奈川県立神奈川工業高等学校
東京都立町田工業高等学校
＜シンガポール＞
シンガポール技術教育研究所
※2いばらき P-TECH
茨城県、一般社団法人茨城県経営者協会及び日本IBMの3者の連携と協力により、ITに関する知識・技術を身に付け、生涯にわたって社会で活躍するIT人材の育成をめざす取組を推進する組織。

3 新聞を読む学生

本校では、「専門力」に加えて「社会人基礎力」の向上のために、新聞スクラップを実施しています。今回は、「情報システム」の1年生の要約と感想をご紹介します。

＜記事＞ 日本経済新聞(2022年10月4日)
「税制優遇の器 さらに拡大」

◇要約

●増山すみれさん(水戸商高卒)
近年、資産運用の税制優遇制度が注目を集めている。その中でも大きな動きを見せたのが時限措置のあったNISAの恒久化宣言だ。これらをどう活用して資産形成につなげるかを考えていく必要があるだろう。

◇感想

●柏千穂子さん(勝田工高卒)
税制優遇されるのはとても良いと思った。私はNISA制度を調べ、自分の資産が増えるのであれば、やってみたいと思う。もっとこのような制度が増えて欲しい。

●作山翔梧さん(多賀高卒)
日本はアメリカなどに比べて、投資する人が少なかったり。金額の規模が小さいとよく聞く。その原因は、制度や知識不足であると考え。制度は改革が進んでいるため、知識を広める政策が必要であると考え。

●藤咲なる美さん(水戸第三高卒)
今まで税制優遇やNISAについて全くと言って知らなかったが、この記事を読み少し興味が湧いた。今後、社会人になったら税と関わる事が非常に増える。今から税に関わることを調べていこうと考えた。

●三村航芽さん(水戸商高卒)
現在、YouTubeでも投資に関する情報が沢山公開されている。それを参考にしながら、日本政府の動きに注目して投資の最も効果的な活用方法を見つけたいと思いました。

●谷田菜月さん(鉾田第一高卒)
増税や円安などのニュースを見て、今の自分に出来ることはない。しかし、取組むべき内容であり、知識を蓄えなければならぬと思いました。これらを上手に活用してお金を増やしたい。

